



「明日はヒノキになろう！」
努力は無限！
「授業を大切にしよう!!!」

◆◆◆「生きる力」がどのくらいついたかを知るには？ その2 ◆◆◆

あすなろ No.1で確認した『「生きる力」がどのくらいついたかを知るには？』について、もう少し詳しく説明します。

■1. 学期の「評価」

◇各教科、「知識・技能」(観点1)、「思考・判断・表現」(観点2)、「主体的に学習に取り組む態度」(観点3)の3つの観点でどれだけ力がついたか、それぞれ評価します。

○各教科、3つの観点それぞれでつけて欲しい力を「評価規準」として示します。また、その力がどれだけついたかは評価の素材を「評価基準」といいます。授業での取り組みや提出物、定期テストの観点別の得点などが「評価基準」にあたります。各教科の「評価規準」と「評価基準」を一覧にまとめて、裏面に載せています。

○「評価基準」は、「A・B・C」の3段階で評価します。

「A」…十分満足できる 「B」…おおむね満足できる 「C」…努力を要する

●定期テストや授業で行う小テストや確認テストなどの得点も「A・B・C」の3段階で評価します。

定期テストは、その観点の満点に対して、

80%以上で「A」 50%以上80%未満で「B」 50%未満で「C」

として評価します。

●授業で行う小テストや確認テストなどの得点で、定期テストの評価方法と異なる場合は授業であらかじめ評価方法が示されます。

◇「評価基準」をもとに、3つの観点をそれぞれ、「A・B・C」の3段階で、学期ごとに評価します。

○「評価基準」の「A・B・C」の評価をそれぞれ、「A」=3、「B」=2、「C」=1として、その平均値で、

2.5以上で「A」 1.5以上2.5未満で「B」 1.5未満で「C」

として評価します。ただし、評価に占める「評価基準」の割合は、内容によってそれぞれ異なります。

(例) Xさんの国語の各学期の評価

観点	1学期	2学期	3学期	年間	評価
知識・技能	B	A	A		
思考・判断・表現	C	B	B		
主体的に学習に取り組む態度	B	B	B		

■2. 年間の「評定」

◇各教科で、3つの観点について、1学期・2学期・3学期の評価をもとに、それぞれ1年間でどれだけ力がついたか、評価します。

○各学期の「A・B・C」の評価をそれぞれ、「A」=3、「B」=2、「C」=1として、その平均値で、

2.5以上で「A」 1.5以上2.5未満で「B」 1.5未満で「C」

として評価します。年間の評価に占める各学期の評価の割合は、すべて同じです。

(例) Xさんの国語の年間の評価

観点	1学期	2学期	3学期	年間	評価
知識・技能	B	A	A	→A	
思考・判断・表現	C	B	B	→B	
主体的に学習に取り組む態度	B	B	B	→B	

年間の評価	各学期の評価の組み合わせ
A	AAA AAB
B	AAC ABB ABC ACC BBB BBC
C	BCC CCC

◇各教科で、3つの観点の年間の評価をもとに、1年間の学習の成果を、「5・4・3・2・1」の5段階の「評定」で示します。

○年間の「A・B・C」の評価をそれぞれ、「A」=3、「B」=2、「C」=1として、その合計で次のように示します。

評定「5」→合計9 評定「4」→合計7・8 評定「3」→合計5・6 評定「2」→合計4 評定「1」→合計3

(例) Xさんの国語の年間の評定

観点	1学期	2学期	3学期	年間	評定
知識・技能	B	A	A	A	
思考・判断・表現	C	B	B	B	
主体的に学習に取り組む態度	B	B	B	B	

年間の評定	年間の評価の組み合わせ
5	AAA (9)
4	AAB (8) ABB AAC (7)
3	BBB ABC (6) BBC ACC (5)
2	BCC (4)
1	CCC (3)

◇3年生は、2学期までの学習成果を1・2学期末の評定で示し、進路選択に用います。

○各教科で、3つの観点について、1学期と2学期の「A・B・C」の評価から、1・2学期末の評価を年間の評価に準じて算出します。

○各教科で、3つの観点の1・2学期末の評価をもとに、1学期から2学期までの学習の成果を、年間の「評定」に準じて算出し、「5・4・3・2・1」の5段階の1・2学期末の「評定」として示します。

1・2学期末の評価	1学期と2学期の評価の組み合わせ
A	AA
B	AB BB AC BC
C	CC

※裏面に続きます

【 2023年度 北中学校 第2学年 評価規準・基準一覧表 】

◆2年国語

評価の観点	評価規準(どのような力をつけるのか)	評価基準(評価の方法)
知識・技能	社会生活に必要な国語知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	定期テスト・確認テスト
思考・判断・表現	論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	定期テスト・ノート・ワークシート
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	提出物・授業での取り組み

◆2年社会

評価の観点	評価規準(どのような力をつけるのか)	評価基準(評価の方法)
知識・技能	日本の諸地域の地理的事象や近世・近代の歴史的事象について理解しているとともに、調査や資料から、様々な情報を正確に読み取ることができるようになる。	定期テスト、小テスト、提出物
思考・判断・表現	社会に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、多面的・多角的に考察し、説明、表現することができるようになる。	定期テスト、小テスト、提出物
主体的に学習に取り組む態度	社会の担い手として、よりよい社会の実現をめざし、過去から現在を見つめたり、今の課題を主体的に追究、解決しようとしている。	振り返り、提出物、授業態度

◆2年数学

評価の観点	評価規準(どのような力をつけるのか)	評価基準(評価の方法)
知識・技能	事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	定期テスト・小テスト
思考・判断・表現	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	定期テスト・小テスト
主体的に学習に取り組む態度	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。	ふりかえり・提出物

◆2年理科

評価の観点	評価規準(どのような力をつけるのか)	評価基準(評価の方法)
知識・技能	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	定期テスト・小テスト・提出物
思考・判断・表現	観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	定期テスト・小テスト・提出物
主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養う。	提出物・振り返り・授業態度

◆2年音楽

評価の観点	評価規準(どのような力をつけるのか)	評価基準(評価の方法)
知識・技能	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。	提出物、定期テスト、実技テスト、授業中の取り組み
思考・判断・表現	曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	提出物、定期テスト、実技テスト、授業中の取り組み
主体的に学習に取り組む態度	主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組む、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。	提出物、実技テスト、授業中の取り組み

◆2年美術

評価の観点	評価規準(どのような力をつけるのか)	評価基準(評価の方法)
知識・技能	対象や物事を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	定期テスト・提出物・作品
思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	定期テスト・提出物・作品
主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。	振り返り・提出物・授業での取り組み

◆2年保健体育

評価の観点	評価規準(どのような力をつけるのか)	評価基準(評価の方法)
知識・技能	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じた基本的な技能を身につけるようにする。また健康・安全について科学的に理解し、身につけた知識を自身の生活へ役立てることができるようにする。	実技テスト、定期テスト、小テスト
思考・判断・表現	学習課題を発見し、課題解決に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫して、他者に伝えることができるようにする。また、個人生活における健康に関する課題の解決を目指して考え、判断し、それらを他者に伝えられるようにする。	授業プリント、定期テスト、小テスト グループ学習
主体的に学習に取り組む態度	運動の楽しさや喜びを味わうことが出来るよう、運動の合理的な実践に積極的に取り組もうとする。また、個人生活における健康に関心をもち、自主的に学習に取り組もうとする態度を養う。	授業態度、授業プリント

◆2年技術家庭

評価の観点	評価規準(どのような力をつけるのか)	評価基準(評価の方法)
知識・技能	ICT 機器を活用し、生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	定期テスト、提出物
思考・判断・表現	生活や社会の中から問題を見だし課題の設定を行い、解決策の構想、実践の評価・改善ができる。必要に応じて ICT 機器を用いて表現するなど、課題を解決する力を身に付けている。	定期テスト、提出物
主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	定期テスト、提出物、授業態度

◆2年英語

評価の観点	評価規準(どのような力をつけるのか)	評価基準(評価の方法)
知識・技能	英語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。	定期テスト、単元テスト、リーディング・テスト
思考・判断・表現	聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり、書いたりして表現できる。	定期テスト、発表テスト(作成原稿・発表)、英会話テスト
主体的に学習に取り組む態度	言語やその背景にある文化に対する関心を持って、主体的に外国語を用いて表現したり、コミュニケーションを図ろうとしている。	提出物、授業態度、振り返り、リーディング・テスト

